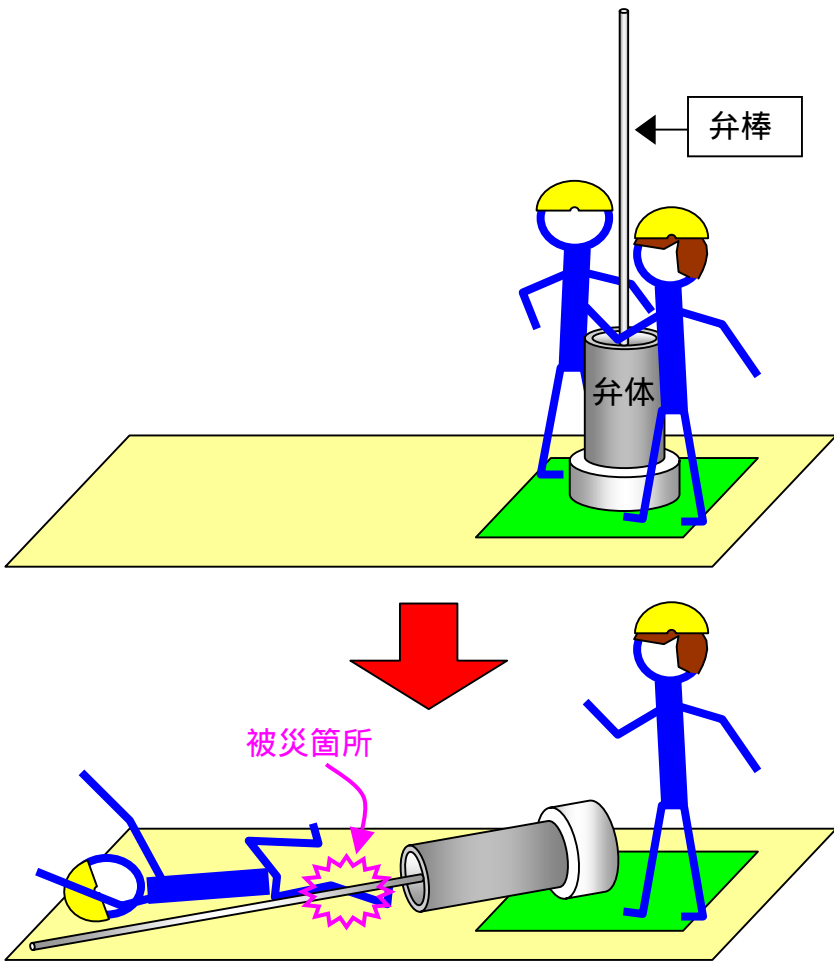
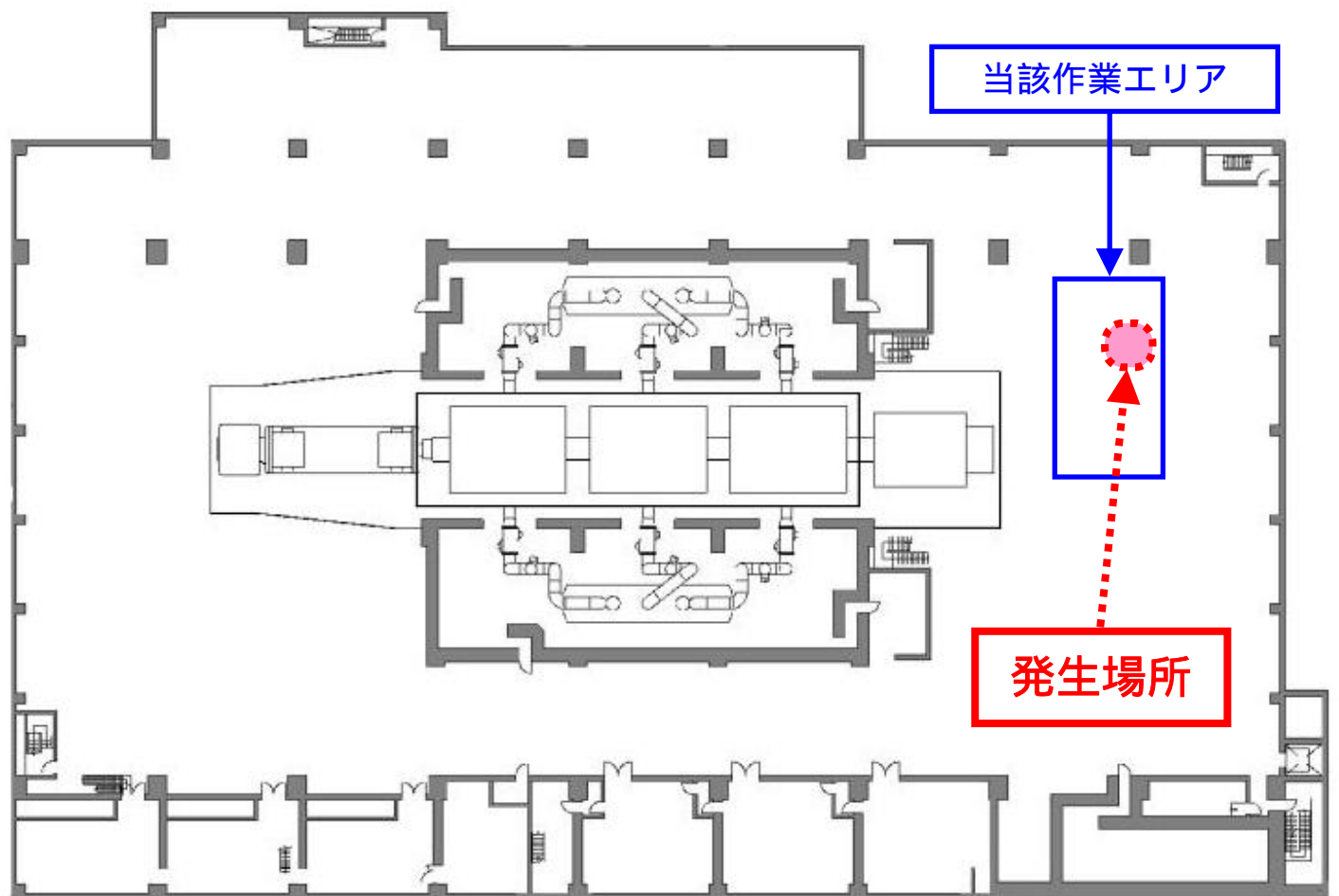
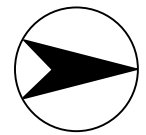


区分：

号機	5号機	
件名	タービン建屋におけるけが人の発生について	
	<p>平成 21 年 10 月 2 日午後 2 時 25 分頃、5 号機のタービン建屋 2 階オペレーティングフロア（管理区域）にて蒸気加減弁の組み立て作業中、倒れた弁体および弁棒（長さ：2.5 m、弁体直径：約 50 cm、弁棒直径：約 13cm、重さ：約 700kg）と床の間に協力企業作業員の右足がはさまり負傷したため、当該作業員を救急車で病院に搬送しました。</p> <p>なお、作業員の身体に放射性物質の付着はありません</p> 	
安全上の重要度 / 損傷の程度	<p>< 安全上の重要度 > 安全上重要な機器等 / その他設備</p>	<p>< 損傷の程度 > 法令報告要 法令報告不要 調査・検討中</p>
対応状況	<p>診察の結果、右足頸骨開放骨折と診断されました。 今後、原因の分析と対策を検討いたします。 また、当所における全作業について、当社と協力企業とで作業手順と現場安全の再確認を行うとともに、当社工事監理員および協力企業作業員に対し、本事象の周知を実施いたします。</p>	

5号機タービン建屋におけるけが人の発生について



柏崎刈羽原子力発電所 5号機 タービン建屋 2階